

## 危険回避へ意識の定着を

長谷川社長がパトロール

大林道路

大林道路の長谷川仁社長は5日、全国安全週間（7月1日～7日）の一環で、四国支店管内で実施されている舗装道路の現場をパトロールした。写真。

パトロールに先立ち、長谷川社長は「安全とは単に事故が起きていない状態を言うのではない。皆が危険を予知し、回避する計画が実行されている状態かを把握すること。この意識を徹底的に現場に定着させ、繰り返し型の労働災害や公衆災



害および交通事故を撲滅し、より良い作業環境を自分たちで創造するという意識の高揚を図ることが重要」と述べた。

続いて石塚義男代表取締役副社長は、「暑さが厳しい時期に入るので熱中症対策として、きめ細やかな配慮と指導が肝となる。熱中症は新規入場者や経験不足な職者、高齢者に多い。気温の上がる初期に多発しており、体の慣れないうちは特に注意すること」と述べ、第一線での現場労働者を含む全員に対し、安全意識を強くもつよう注意喚起した。